

駐輪場を快適に

～熊政会～

駅周辺の駐輪場にて
迷惑駐輪発生!

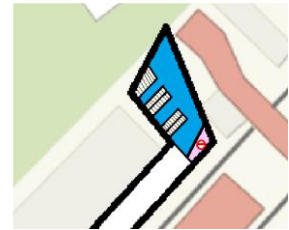


水前寺駅北口駐輪場

我々は台数調査や聞き取り調査などを行いました。

実地調査で分かった駐輪場の問題点

- 駐輪場の奥で駐輪すると、駅の入口から遠ざかって不便であるため、駐輪が駐輪場の入口付近に集中しやすい状況にある。
- 駐輪場入口に集中した自転車が駅に隣接する公園への通路を妨げている。
- 駐輪場の迷惑駐輪を撤去・整理する体制が整っていない。



水前寺駅北口駐輪場
(太線で表示された部分)

改善実験

駐輪場の測量を行い、テープを使って収容能力を極度に低下させないと考えた35cm間隔で白線を引いた。また、駐輪禁止スペースには赤いテープで「駐輪禁止」を表示し、通路には順路と通路であることを示す緑のテープを貼った。また、実験1日目・2日目には、午前の通勤・通学ラッシュと午後の帰宅ラッシュの時間帯に監視員を配置し、駐輪場の整理と空いている駐輪スペースへの誘導をした。3日目以降は何もしないままで、駐輪場の状況がどう推移するかを調査した(実験は7日間実施した)。



駐輪場整理前



駐輪場整理後

結果：白線を引いた場合の迷惑駐輪は、何もしなかった時に比べ大幅に減少した。また、監視員など人員の配置が行われずに放置されると、迷惑駐輪の台数が増加する傾向にあることが分かった。この実験により、駐輪禁止スペースに止められた自転車や通路に止められた自転車は、実験開始前と比べ大幅に減少した。特に駐輪場内の通路及び駐輪場隣の公園への通路で効果が表れた。

ただ、長期的な駐輪状況の改善には、利用者のマナー向上や、行政側との連携も欠かせないため、熊本市・水前寺駅・駐輪場利用者の三者の協力が不可欠である。

故に、我々は

熊本市・水前寺駅・利用者による協議会設置

を提案します。

メリット

- ① 監視員をおけば駐輪状況の改善が見込まれるが、それを三者が話し合い、各々が出せる人員を決めて(利用者には近隣の学校や自治会が想定される)、駐輪場に配置できる。
- ② 協議会の設置によって利用者たる一般市民の考えが駐輪場運営に反映されやすくなる。
- ③ 三者の協同によって意思疎通が図られ、問題の発生に速やかに対処できる。